

公 民 [倫 理] (100 点 50 分)

2005 年 10 月 20 日 (木) 2 限実施

千葉県立千葉東高等学校 第 3 学年 1,2,3,4,5 組 + 理系倫理選択者対象

Produced by K.Kataoka

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 3 解答用紙には解答欄以外に次の記入欄があるので、それぞれ正しく記入し、マークしなさい。

学年，組，名前を記入する。

学年，組の該当個所をマークする。

出席番号をマークする。(10 番以上は 10 の位と 1 の位の 2 カ所)

男女の欄をマークする

1.2.3 枚目のところはマークしない。

停・欠・遅・早のところはマークしない。

機械の読みとりミス確認のため、解答欄はマークの左側に番号を記入しておく。

以上が正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

明日 10 月 21 日 (金) から第 1 回センター試験過去問演習用プリントを配付します。希望者は考査終了後、社会科教室前から持っていくこと。マークシート提出期限は 26 日 (水) の昼休みまでとします。

倫 理

(解答番号 [1] ~ [50])

第 1 問 次の文章を読み下の問い (問 1 ~ 問 1 2) に答えよ。(配点 26)

仏教伝来の当初, [1] ことは, わが国に在来の神々の怒りを招くのではないかとし
て, これに反対する人々もあったと伝えられている。このような態度の中に, 自然現象な
ど威力のあるもののすべてを神として恐れまた崇めていた, 古代の日本人の宗教観の一端
をうかがうことができよう。

ともあれ, このような形で開始された仏教受容の初期において, 仏教の持つ思想内容そ
のものに深い理解を示したのは聖徳太子であった。太子の著作とされている『三経義疏』
あるいは (a) 『十七条憲法』には, 仏教的な人間理解を世俗の生活の中に生かそうとする
姿勢を見ることができる。

奈良時代に入り, (b)教典・教義の理論的研究を行う学問仏教が, 南都六宗を中心に定着
した。その一方で仏教は人々の信仰と結びつき, 災害の消滅や難病の平癒といった [2]
をもたらず呪術的宗教として広く受け入れられた。そうした側面の国家レベルでの現れが,
鎮護国家の仏教であったと見ることができる。

平安時代の初め, 最長と空海の二人の求道者が大陸に渡り, それぞれ(c)法華經の一乘思
想を理想とする天台宗と, (d)密教を最高の教えとする真言宗とをわが国に伝え, 奈良仏教
とは一線を画そうとする新たな仏教のあり方を示した。だがいずれも, 次第に鎮護国家や
加持祈祷を主とする性格を強めていった。

このような受容過程をたどった仏教は, (e)平安末期にいたり, 国家や社会の激しい動乱
に直面し, そのあり方が根本から問い直されることになる。鎮護国家という大きな枠組み
が動揺し, 社会の混乱と不安の中で苦悩する人々に対して, 内面からの救済としてどのよ
うなあり方を示しうるかは, (f)次の時代の仏教が担う大きな課題となったのである。

問 1 文中の空欄 [1]・[2]に入れるのに最も適当なものを, 次の ~ のう
ちから一つずつ選べ。(1990 年センター追試より)

[1] 外国の法に従う 異国の神を敬う 天帝を礼拝する
外国の法に背く 異国の神を排する

[2] 経世済民 本地垂迹 則天去私 現世利益 即身成仏

問2 下線部(a)に関連して、聖徳太子が記したとされる「十七条憲法」の中には、煩悩の自覚に基づく条文がある。その条文の要旨として適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[3](2004年センター本試験より)

心の中に怨みを抱かず怒りを棄てよ。人はそれぞれ自分が正しいと思い他人が間違っていると思ひ込む。しかし自分が必ずしも聖人ではなく、他人が必ずしも愚者なのでもない。ともに欲望にとらわれているのである。

聖人や賢人のように知恵の明らかなでないものが愚癡である。聖人や賢人のように才能の及ばない者が不肖である。愚癡不肖であっても良知良能がある。その良知良能を失わなければ、愚癡不肖も善人の徒なのである。

法による指導や刑罰による規制では、人々は法や刑罰に触れなければよいと思ひ、罪を恥じることがない。しかし、徳によって導き、礼によって規制すると、人々は悪を恥じようになり、おのずから善にいたるものである。

人間の本質は悪であって、善なるものは偽(人為)である。人間は生まれつき利益を好み、妬み憎んだりする傾向があり、それに従うと争い合い秩序がなくなる。聖人はそれを見て礼や法を制して人間の性質をただしたのである。

問3 下線部(b)に関連して、『成唯識論』を唐に持ち帰った玄奘に学んだ道昭が日本に伝えた宗派として適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[4]

律宗 法相宗 華嚴宗 三論宗

問4 下線部(c)に関連して、最澄の思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[5]

真の仏道修行のためには厳しい戒律が必要であり、具足戒二百五十戒を守る修行僧こそが国の宝である。

煩悩即菩提という大乘仏教の立場からすると、戒律というものは一切不要であり、肉食妻帯すら仏道修行の妨げにはなりえない。

悟りにいたる乗り物が三種類あるというのは方便で、実は唯一つの真実の教えがあるのみで、それによっていかなる人間にもすべて平等に仏に成る可能性がある。

悟りにいたる方法には、声聞乗、縁覚乗、菩薩乗の三つがあるが、一切の人間の悟りのために修行する菩薩乗を選ぶ者だけが仏となる可能性を持つ。

問5 下線部(d)に関連して、密教と顕教についての空海の子の説明としてもっとも適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[6](2005年センター追試験より)

顕教は出家者自身の悟りを追求する教えであるのに対し、密教は大日如来の秘密の慈悲に基づき、在家者を対象とする教えである。

顕教は釈迦が言葉によって説いた教えであるのに対し、密教は言葉の働きを信頼せず、大日如来を中心に世界を図像化した教えである。

顕教は自力による悟りを目指す教えであるのに対し、密教は自力よりも、大日如来からの働きかけという他力を重視する教えである。

顕教は釈迦が人々の能力に応じて説いた仮の教えであるのに対し、密教は、大日如来が自らの境地そのものを説いた秘密の教えである。

問6 下線部(e)に関連して、この時代の僧で諸国を遊行して念仏の功徳を説いたり、京の市で乞食をしたりしながら貧民や病人の世話をし市聖と呼ばれた人物として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[7]

源 信 行 基 一 遍 空 也

問7 下線部(f)に関連して、法然の言葉として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[8]

われ日本の柱とならむ

厭離穢土、欣求浄土

知者のふるまいをせずして、ただ一向に念仏すべし

善人なをもて往生をとぐ、いはんや悪人をや

問8 親鸞の思想についての記述として、最も適当なものを次の ~ の中から一つ選べ。[9](2004年センター本試験より)

煩惱を抱えた人間が浄土に往生できるのは、完全に阿弥陀仏の救済の力による。自ら唱えているように思っている念仏や信心すら、阿弥陀仏の働きに由来する。

自力の修行で煩惱を克服することは困難である。浄土に往生するためには、日頃念仏を唱えるとともに、臨終の際に煩惱が生じないようにすることが特に重要である。

念仏を唱えること以外の、一切の自力の修行を廃すべきである。阿弥陀仏は煩惱を抱えた人間のために称名念仏を選んだのだから、そのみを修行すれば往生できる。

阿弥陀仏の救済の力は絶大である。念仏を唱える人間は誰でも浄土に往生できるが、そのためには自己の煩惱を自覚し、日常生活のすべてを捨てなければならない。

問9 次の文の空欄 [A] に入る言葉として最も適当なものを、下の ~ のうちから一つ選べ。 [10]

日本の臨済禅はとくに [A] とよばれる禅問答の参究を修行方法とするので、おのずから中国の文学や風俗習慣に親しむ傾向にあり、これが日本独自の禅文化を生むことになり、五山文学とよばれるはばひろい中国学や、禅院の建築、庭園の造型をはじめ、水墨、絵画、墨跡、工芸の生産のほか、それらを使用する日常生活の特殊な儀礼を生む。栄西が宋より茶を伝え、『喫茶養生記』を著して、その医薬としての効果を説いたことも、後になると茶道の祖としての評価を高めることとなる。臨済禅の伝来は、そうした中国近代文明の持続的な日本への伝来とともにある。

無 心 三 昧 公 案 頓 知

問10 道元の思想を記述したものととして適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [11]

仏道を学ぶ人はただひたすら坐禅して、他のことに関わってはならない。

坐禅の修行がそのまま悟りの体現である。

世界のすべての事物は心の表象でありそれを悟れば迷妄の世界は消滅する。

自己を習うということは自己を忘れるということである。

問11 日蓮の思想の説明として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [12]

久遠実成の本仏を中心に、周辺に仏菩薩を配置した十界曼荼羅を本尊とする。

「南無妙法蓮華経」の題目を唱えれば男女貴賤の別なく現世で成仏できる。

禅宗の教えは天魔の教えであり、天台宗の教えは国を滅ぼす。

法華経の功德によって薬師如来が教えを説いた浄瑠璃浄土へ往生できる。

問12 本文の内容に合致するものとして最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [13] (1990年センター追試験より)

我が国の仏教は、伝来の当初、教義の理論的研究を第一の課題としていた。

古代・中世の仏教は、もっぱら鎮護国家に奉仕することを目的としてきた。

鎌倉新仏教に共通する課題は、国家の安泰と古代的秩序の回復にあった。

平安時代までの仏教は、呪術的宗教として信仰される傾向が強かった。

第2問 次の文章を読み下の問い(問1～問15)に答えよ。(配点30)

日本の古代では、儒教は道徳としてよりも政治の理念として採用された。奈良・平安朝の歴代の詔勅や制度などのうちには、儒教の影響が認められる。しかし、一般には仏教の隆盛のおかげにかくれて、あまりふるわなかった。鎌倉時代になると、禅宗の僧が多く宋に渡って、仏教の教義とともに儒教についての新しい学問(朱子学)を伝え、儒学についての理解も深まった。室町時代には、朱子学は五山の禅僧によって継承されたが、儒学が日本人の思想や生活につよい影響をもつようになったのは、江戸時代にはいつてからのことである。江戸幕府は、戦国時代の体験にもとづいて、社会の秩序を安定させるために、儒学を政治と道徳の指導原理として、積極的に採用した。とくに藤原惺窩・(a)林羅山らの(b)朱子学派の教えが重んじられた。惺窩や羅山の奉じた朱子学は、江戸時代中期になると、幕府公認の官学とされ、諸藩に藩校が設立されて儒教による武士の教育が広く普及するようになった。

林羅山らの朱子学派に対して、批判的立場をとったのは、(c)中江藤樹である。彼は少年のころ、祖父のもとで武士の子として育てられたが、武士の形式的な生活にたえられず、母に孝養をつくすため、母のいる近江(滋賀県)に帰った。近江では農民たちに教えを説き、近江聖人とよばれて敬愛された。彼は『[14]』の中で、「天道は人物の大父母にして根本なり」とのべ、(d)天道の子である人間の中には、すべて同じように、善を実現すべく天から与えられた霊宝が宿っているという。だから、善の実現にあたっては、武士も庶民も本来は同じ使命を与えられているのである。

朱子学・陽明学に対して、さらに(e)古学派といわれるわが国独自の一派があらわれてきた。山鹿素行・(f)伊藤仁斎・荻生徂徠の三人は、その代表的な人々である。古学派は、朱子や王陽明など後世の学者の説にもとづかずに、直接に孔子や孟子の教えにつこうとする考え方に立っている。

江戸時代中期以後、町人階級の中から、(g)庶民生活の実際に合った思想が説かれるようになった。享保年代に起こった、(h)商人石田梅岩を創始者とする石門心学がそれである。梅岩は、朱子学を中心として老荘思想、仏教、神道などの教えも取り入れ、平易なことばで説き、『[15]』を著した。

江戸時代の後半にはまた、農民の立場に立つ思想家があらわれた。東北の農村の医師であった安藤昌益は、(i)自然真営道とよぶ独創的な思想を説いた。小田原の農家の出身である(j)二宮尊徳は独自の思想をもった農政家として、農業の改革や諸藩の財政再建を行った。

問1 空欄[14][15]に入る書名として最も適当なものを、次の～のうちから一つずつ選べ。

都鄙問答 童子問 弁道 聖教要録 翁問答 春鑑抄

問2 下線部(a)に関連して、林羅山の上下定分の理を説明したものとして最も適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[16](1991 年センター本試験より)

政治上の身分が上位にある者ほど、経済的にも大きな力を与えられる。

天と地に高低の差別があるように、人間も生まれつき身分の上下が決まっている。

聖人の定めた道に従って、身分制度などの社会のしくみが作られる。

武家政権は、最高の権威を持つ天皇の委託によって政治を実行する下位の機関である。

問3 下線部(b)に関連して、朱子学についての説明として最も適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[17]

人は生まれつき利を求め害を避けようとするものだとし、外側から人を規制するものとして法律と刑罰を重視した。

人の心がそのまま理であるとし、人に生まれつき備わっている良知をいかに発現させるかが重要だと説いた。

万物は理と気とから構成されるとし、時間・空間をつらぬく一なる理を明らかにすることが重要だと説いた。

本来の世界を、何の差別も対立もない万物斉同の世界として捉え、人為を去って生きることを提唱した。

問4 山崎闇斎の垂加神道についての説明として最も適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[18]

儒仏の説を排し皇国日本固有の古代の神の道を説いた神道。

天皇崇拝に基づく大義名分と封建道徳を説いた儒家神道。

反本地垂迹説に立って神主仏従を説いた神道。

金剛界・胎蔵界の両部の理論をもって神と仏の関係を説いた神道。

問5 下線部(c)の中江藤樹が説いた孝の説明として最も適切なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[19]

つねに天の道とひとつであるために人欲を戒めるつつしみ

愛敬を本質とする万物を生み出す宇宙の生成原理

仁愛の根底にある自分にも他人にも偽らない純粋な心情

国家も家族であるという観点から忠と一致するとされる臣民の徳

問6 下線部(d)のように人間を等しく捉える思想にたいして、男性の価値観から女性の倫理的規範を定める思想もあった。貝原益軒の著作として流布している『女大学』は、後世の人が益軒の著作を用いて作り上げたものとされているが、益軒の考え方の一部をことさら強調したものとなっている。次の益軒の著作と『女大学』の記述を比較した上で、両者の差異を記した文として最も適当なものを、下の ~ の中から一つ選べ。[20](2000年センター追試験より)

貝原益軒の著作から

「赤ん坊は人生のはじまりである。このときは誰もみな性質が似ている。だれもまだものを習っていない。理性や思考もまだおこっていないが、その善をなし悪をなす分かれ道はここにある。」

「家をよく保つのと保たないのとは、夫の徳不徳ばかりでなく、妻の行いの善悪にもよる。夫は外を治め、妻は内を治めるのが職分である。」

『女大学』から

「女子は陰性である。陰というのは夜のことで暗いことだ。そのため女は男と比べると愚かであり、今まさにすべきことを知らない。」

「婦人は他に主君はいない。夫を主人だと思って敬い慎んでつかえるべきだ。軽く考え侮ってはいけない。総じて婦人の道は人に従うことにある。」

益軒が性差だけでなく、人間本性の共通性をも説くのに対して、『女大学』は夫への従属を専ら女性の生得的な性質として説いている。

益軒が普遍的な世界観に立って男女の同等の権利を説くのに対して、『女大学』は両者の本質的な差異を説いている。

益軒が自由で主体的な生き方の確立のために女性の教育を説くのに対して、『女大学』は女性に対して家族道徳のみを説いている。

益軒が個性に基づく女性の役割を説くのに対して、『女大学』は性の役割分担を宿命的なものとして説いている。

問7 下線部(e)に関して、山鹿素行、荻生徂徠の主張として最も適当なものを、次の ~ のうちからそれぞれ一つずつ選べ。山鹿素行については [21] に、荻生徂徠については [22] に答えよ。(2004 年センター追試験より)

聖人は、言葉だけでは人を教えるのに不十分であることを知っており、礼楽を制作して、それによって教え導き、人を感化しようとしたのである。

農民は草莽の臣であり、商工は市井の臣である。臣として君を補佐するのが臣の道であり、商業活動も君が天下を治めることの補佐である。

天が上にあり地が下にあるのが、天地の礼である。その天地の礼が人に生まれつき備わっているので、上下前後の秩序が成立するのである。

忠や義は、万民誰もがなすべきことだが、農工商は職業上余裕なき生活を送っているため、士がかわりに人倫を正す義務を有するのである。

学問して道を知ろうとするならば、まず漢意をきれいに取り除かなければならない。

そうでなければ、古書を読んでも古の意は分からない。

毎朝毎夕、心を正しては死を思い死を決し、いつも死身になっていれば、武士道と我が身が一体化し、家職を全うすることが可能となる。

問8 下線部(e)に関して、伊藤仁斎は何事も「理」に則って決断することに対してどのように考えたか、最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[23] (1990 年センター本試験より)

人は道理に従うものであるから恨みをかうことはない。

他者の過ちを許そうとしない酷薄な心がまさってくる。

社会から不正がなくなる。

人を単に愛したのではなく、人を正しく愛したことになる。

私に左右されない公平な精神が獲得できる。

問9 下線部(g)に関して、西川如見の著作として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[24]

町人囊

養生訓

玄 語

西洋紀聞

問 1 0 下線部(h)に関連して、石田梅岩の思想の記述として適当でないものを、次の ~ の中から一つ選べ。[25]

商人の売利は士の禄に同じ。売利なくば士の禄なくしてつかふるがごとし。
幕府も諸侯ももはや酔人なれば扶持のすべなし、草莽崛起の人を望む外頼みなし。
倭約をいふは他の義にあらず、うまれながらの正直にかへしたし為なり。
四民を治めたまふは君の職なり。君をたすけるは四民の職分なり。

問 1 1 下線部(i)に関連して、安藤昌益の天地自然のとらえ方として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[26](1988 年共通一次本試験より)

その背後に存する神によって操作されている奇(くす)しく妙(たえ)なるもの。
そこに人力が加わらなければ、太古の荒地に帰してしまうもの。
それ自体が一大生命であり、自ら万物を生成して尽きることがないもの。
そこに貫徹するからくりの法則を明らかにすることによって、人がどのようにでも操作しうるもの。

問 1 2 下線部(j)に関連して、二宮尊徳の思想を示すものを、次の ~ の中から一つ選べ。[27]

知足安分 分度・推譲 自然世・法世 義理・人情

問 1 5 三浦梅園の思想を説明した記述として最も適当なものを、次の ~ の中から一つ選べ。[28]

思想を歴史的で国民性に左右される相対的なものとらえ、加上の法則を展開し、仏教を玄術、儒教を文辞、神道を秘伝と特徴づけてその絶対化を否定した。

生命や精神活動の唯物論的な解明を目指して無鬼論(唯物論)を唱え、非合理的な宗教を批判した。

自然を、条理にしたがって気が運行する、合法則的な存在であるととらえ、気のしくみを「一即一、一一即一」と規定する自然哲学を唱えた。

諸藩は貨幣経済社会に即応した藩専売制を採用し、富国強兵を積極的にはかるべきだと説き、その理論的裏付けとして法家思想に同調した。

第3問 次の文章を読み下の問い(問1～問9)に答えよ。(配点18)

私たちが何げなく使っている学問上・思想上の言葉の多くは、明治時代に西洋の概念の翻訳語として登場したものである。それらの言葉の中で、古くから使用されていたものには、それまでと異なった意味内容が付与されることがあった。ここでは「自由」という言葉を例にして、その問題を考えてみよう。

従来、「勝手、気まま」というような意味の用例が多かった自由という言葉が翻訳語として定着したのは、明治の初め、[29]がJ.S.ミルの著書 On Liberty を『自由之理』と訳した後だといわれている。(a)明治の啓蒙思想家にとって自由は、天賦人權論の基底をなし、人々を封建的身分から解放するものであった。それはさらに、新政府の圧政からの解放と人民の権利の伸長を求めた自由民権運動に理論的根拠を与えた。運動の理論的指導者の一人である (b)植木枝盛は私擬憲法案を起草して、人民の自由が侵害されたときの抵抗・革命の権利を主張した。しかし、民権運動が求めた自由は、単に圧政からの解放を意味するだけではなかった。(c)中江兆民は、外の権威にも、内の欲望にも妨げられない「心思の自由」の涵養を求め、そこに理想社会を形成する人間の主体性を認めていたのである。

自由民権運動の衰退の中で、自由の追求は、文学の領域でもさらに展開されていく。北村透谷は、「想世界」に根源的な [30] を認め、その横溢に現実世界に対する自己の自由の立脚点を求めた。こうした考え方は、個性や感情を尊重する浪漫主義運動として展開していく。また、(d)夏目漱石は、他人に左右されない「自己本位」を自らの個人主義の根拠とした。これは個人の自由に基づく近代的自我の確立を主張したものだといえるだろう。だがこの主張は、自我と、他者や社会との間の葛藤をいかに解決するかという課題をもたらすことにもなった。

一方、(e)明治のキリスト者たちは、神の前に一人立つ人格の独立に自由を求めた。それは自らを超越的な神にゆだねる自由であり、そのため地上的な権威を相対化する可能性もはらんでいた。たとえば (f)内村鑑三は、外的な権威に従属することを徹底して排し、教会や儀式にとらわれない、直接聖書に基づく信仰を唱えたが、その信仰は国家との軋轢を生み出しかねないものだったのである。

このようにみると、自由という言葉は、西洋文化と出会うことによって、その内容をより豊かにしていったといえるだろう。新たに移入された自由は、[A] だったのである。

問1 文中の空欄 [29] に入る人名として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。

中村正直

西 周

加藤弘之

木下尚江

問2 文中の空欄 [30]に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。(1999年センター本試験より改題)

良知良能 浩然の気 内部生命 アルケー

問3 下線部(a)に関連して、福沢諭吉の思想の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[31]

門閥制度を打破し封建社会からの脱出を図るために、東洋道徳と西洋芸術をともに兼ね備える学問をなすべきである。

天賦人權を人民の手に取り戻すため、官民の調和を破棄して急進的に日本の近代化を推進すべきである。

欧米列強に対抗するため、挙国一致の体制でアジアの合同を推し進めて大アジア主義を実現すべきである。

独立自尊の精神こそ文明を支える基軸であり、国民一人一人が独立して国家の命運を担わなければならない。

問4 下線部(b)に関してその憲法案の名称とその内容の組合せとして最も適当なものを次の ~ のうちから一つ選べ。[32]

名 称	内 容	名 称	内 容
東洋大日本国国憲按	抵抗権	私擬憲法案	君主権能の制限
東洋大日本国国憲按	専制君主制	私擬憲法案	一院制

問5 下線部(c)に関連して、中江兆民の『三酔人経綸問答』の中で展開された考え方を述べた文として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[33](1999年センター本試験)

為政者は人面に恵み与えた権利を実質的なものにしていくために、国家主義的な教育を進め、人民を啓蒙していかななくてはならない。

為政者が人民に恵み与えた権利であっても、人民はそれを育てていって、その権利を実質的なものに変えていかななくてはならない。

為政者は人民に権利を恵み与えるべきであり、また一方、人民はそれを大切に守り、自己の義務を果たしていかななくてはならない。

為政者が人民に権利を恵み与えることはありえないから、人民は為政者から権利を獲得するための闘争をしなくてはならない。

問6 下線部(d)に関連して、夏目漱石の思想として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[34]

日本の文明は外発的な欲求に基づいて外発的に開化されるべきだ。

自然主義的で素朴な自己肯定は他人の犠牲を顧みないエゴイズムになりうる。

国家の平穏なときには国家的道徳よりも個人的道徳を重視すべきだ。

小さな私を去って、普遍的な自然の命ずるままに自分を任せる心境を受け入れる。

問7 下線部(e)に関連して、アメリカで神学を修めて帰国し、京都に同志社を創設して自由活の精神をもった教育をはじめた人物を、次の ~ のうちから一つ選べ。[35]

木下尚江 植村正久 新島 襄 片山 潜

問8 下線部(f)に関連して、内村鑑三のことばとして適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[36]

私共の信仰は国のためでありまして 私どもの愛国心はキリストのためであります。

武士道はそのシンボルである桜花と同じく日本の土地に固有の花である。それは今なお我々の間における力と美との活ける対象である。

私は、戦争はキリスト降世二千年後の今日、文明国の間にあるべからざるものと信ずる者であります。

ほんとうの教会は実は無教会であります。天国には実は教会なるものはないのであります。

問9 本文の趣旨に照らして、文中の [A] に入れるのに最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[37](1999年センター本試験)

外的な権威や権力からの解放を意味するばかりではなく、理想社会の建設や自己の内面の確立において、人間の自主的・主体的な生き方を求めようとするもの

気ままさや奔放さに向かいがちな生き方を律し、感情や欲望を厳しく抑制することによって近代的自我を確立して、外的な権威や権力からの解放を達成しようとするもの

外的な権威や権力からの解放を意味するばかりではなく、天賦人權の無制限な行使と、欲望や感情の無制約な発露に、近代的自我の主体的な生き方を求めようとするもの

理想社会の建設に積極的に関わり、他者や社会との間に対立や葛藤を生まない協調的な自己を確立することで、外的な権威や権力からの解放をめざそうとするもの

第4問 次の文章を読み下の問い(問1～問10)に答えよ。(配点 26)

江戸時代の中ごろ、儒者のあいだに古学派の運動が起こったとき、その考え方の影響を受けながら、わが国の古典を研究し、日本古来の道、すなわち「古道」を明らかにしようとする運動が起こった。これが国学である。はじめは、(a)契沖・荷田春満・(b)賀茂真淵らによって、『万葉集』や古語の研究がすすめられたが、これを受け継いで国学を大成したのは、本居宣長である。宣長は、和歌や『源氏物語』を研究して、文芸の価値は道徳的教訓のためでも政治の役に立つことでもなく、「もののあはれ」を知ることにあると主張した。

宣長はさらに、『古事記』の研究によってこの考え方を発展させた。彼の考えによれば、中国で儒教の道がやかましく説かれたのは、国を奪おうとする悪人が多いからである。日本の古代では、うるさい教えは何もなかったけれども天下はおだやかであった。わが国では「まことは、道あるが故に道てふ言なく、道てふことなけれども、道ありしなりけり」(『直毘霊』)とのべて、古代の天皇による統治の時代を理想化した。したがって、古道を知ろうとするならば[38]をとりのぞいて、古代人の心になりきって皇国の古典の伝承を信じなくてはならないと説いた。

宣長の古道の説は、(c)平田篤胤に受けつがれて、実践的な性格をつよめ、日本を万国にすぐれた国とする考え方がつよくなった。幕末になると、西洋諸国の圧力によって危機感が高まり、封建体制の矛盾がしだいに明らかになってきた。そういう情勢のために、国学の考え方は、幕末の尊王攘夷思想に大きな影響を与えることになった。

明治の文明開化以来、西洋思想が急激に流入してくると、これに反発して、日本独自の伝統を再評価して国家意識を高揚しようとする動きがあらわれてきた。明治の中ごろには、[A]らが当時の表面的な欧化主義を批判して国粹主義を訴え、[B]は、西洋思想をとり入れつつも日本の伝統にそった国民道徳論を展開している。また明治政府も、明治23(1890)年、国家・天皇への忠誠を説いた教育勅語を發布して、国民道徳の基本とすることをもとめている。

近代化がすすみ、資本主義がしだいに発展してくると、さまざまな社会問題がおこり、それに対応して、社会主義の思想と運動が本格的に登場してくる。明治末期のいわゆる大逆事件で刑死した[C]は自由民権運動の流れをくんでいたが、初期の指導者の大部分はキリスト教的人道主義者であった。この大逆事件ののち、運動は一時弱まったが、第一次世界大戦後、資本主義が急速にすすむと、マルクス主義にもとづいた社会主義の思想と運動が河上肇らによって展開されるようになった。

問1 空欄[38]に入る宣長の言葉として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。[38]

漢意

先王之道

からくにぶり

惟神之道

問2 空欄 [A] [B] [C]に入る人名の組合せとして、最も当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [39]

[A]	[B]	[C]
徳富蘇峰	西村茂樹	北 一輝
徳富蘇峰	元田永孚	幸徳秋水
三宅雪嶺	元田永孚	北 一輝
三宅雪嶺	西村茂樹	幸徳秋水

問3 下線部(a)に関連して、契沖の著作として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [40]

万葉代匠記 創学校啓 万葉考 玉勝間

問4 下線部(b)に関連して、賀茂真淵の思想の記述として最も適当なものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [41]

古今和歌集などに見られる「たをやめぶり」の心情を古代の真心として重視した。

万葉集に見られる「からくにぶり」の心情を古代の真心として重視した。

みずから万葉風の歌を詠むことによって古意を習得すべきであるとした。

中国から伝わった儒仏思想の影響を「高き直き心」であるとして批判した。

問5 下線部(c)に関連して、平田篤胤の思想についての記述として適当でないものを、次の ~ のうちから一つ選べ。 [42]

古道の神学化を強力に推し進めて復古神道を完成した。

忠と孝を中心に儒教と神道を統合し、キリスト教を反国体的として攻撃した。

漢字伝来以前の神代文字の存在を主張するなど皇国の優越性を主張した。

人の死後の霊は大国主神の主宰する幽冥界へ行くとする説をとらえた。

問6 明治期の思想家で美術指導者である岡倉天心はボストン美術館の東洋部長として、アジアを共通の文明圏ととらえる思想を展開した。次の岡倉天心の文章を読んで、その主張に合致する考え方として最も適当なものを、次ページの ~ のうちから一つ選べ。 [43](2003年センター追試験)

アジアの兄弟姉妹よ！ 我々は、様々な理想の間を長い間さまよってきた。さあ、再び現実に目覚めようではないか。(中略)我々は、結晶のような生活を誇りとして、互いに孤立してきた。さあ、共通の苦難という大洋の中で溶け合おうではないか。

(岡倉天心『東洋の目覚め』)

究極と普遍を求める愛の広がりこそは、共通の思想的遺産であり、我々を欧州から区別できるものである。

朝鮮，中国，ロシア，英国等の国々を貧富強弱で区別するのをやめ，公平無私の眼をもてば，我々は世界の体勢を観察できる。

民権は根本原理であり，自由平等は大原則である。百の帝国主義によっても滅ぼされえないし，まして欧米の専有物でもない。

科学的社会主義が野蛮な軍国主義を滅ぼし，四海同胞の世界主義が略奪的帝国主義を一掃することができる。

問7 西田幾多郎の純粹経験という概念を説明したものとして適当でないものを，次の～のうちから一つ選べ。[44](1991年センター追試験より)

普通には精神現象と物体現象とを内外によりて区別し，前者は内に後者は外にあると考えている。

自己の意識状態を直下に経験したとき，いまだ主もなく客もない，知識とその対象がまったく合一している。

たとえば画家の興来たり筆自ら動くように複雑なる作用の背後に統一的或るものが働いている。

われわれが美妙なる音楽に心を奪われ，物我相忘れ，天地ただ嘯唳(りゅうりょう：楽器などの音がさえわたっている様子)たる一楽声のみなるがごとく，この刹那いわゆる真実在が現前している。

問8 和辻哲郎の思想に関する記述として最も適当なものを，次の～のうちから一つ選べ。[45]

アジアの風土では激しい自然が人間に敵対し，人々は対抗的・戦闘的性格になる。

『出家とその弟子』『愛と認識の出発』等の著作で宗教的ヒューマニズムを説いた。人間は，個人的側面と社会的側面との弁証法的なあり方において存在する。

一切の存在物の根拠であり，相対的な有無を超えた無を「絶対無」という。

問9 下の説明に該当する思想の名称として最も適当なものを，次の～のうちから一つ選べ。[46]

国家をはじめ，すべての政治的権威を否定し，完全な自由社会の樹立を理想とする思想。個人の徹底した自由を強調し，一切の国家の廃絶を主張する。

無政府主義

社会民主主義

空想的社会主義

帝国主義

問10 下の説明A・B・C・Dに該当する人物名として最も適当なものを、次の～のうちからそれぞれ一つ選べ。

A.『中央公論』紙上に日本の国情に合わせた民本主義について論じ、憲政擁護と普通選挙の実施を訴えた政治学者。[47]

B.青鞞社をおこし、市川房枝らとともに新婦人協会を設立し女性参政権等に取り組んだ婦人運動家。[48]

C.『好色一代男』や『世間胸算用』などによって、町人の様々な世界を描いた大阪の浮世草子作家。[49]

D.「常民」という名もない人々の生活や伝承・習俗・信仰などの研究を通して、日本民族の基盤を探究した日本民俗学の先駆者。[50]

近松門左衛門

吉野作造

柳田国男

岸田俊子

美濃部達吉

井原西鶴

平塚らいてう

南方熊楠

以上